

当社では、健康経営に関わる数値の経年変化を観察し、効果検証や施策の見直しに役立てています。健康経営の最終的な目的指標はプレゼンティーズムおよびアブセンティーズムであり、その改善のために戦略マップに基づく各種指標の改善を図っています。

2021年度から2022年度にかけて、健康投資施策の取組み状況に関する指標は、ほぼ前年同様で、社員の巻き込みを継続することができました。特に力を入れて取り組んだ「精密検査受診率」については、健診担当者だけでなく、上長を巻き込むことで受診率を向上することができました。

また従業員の意識変容・行動変容に関する指標は、睡眠と喫煙についての数値が向上しました。特に睡眠については、2020年リモートワークに切り替えてから数値が改善し続けており、生活リズムを整えることで生活習慣病予防にも良い影響を与えています。

そして健康関連の最終的な目的指標として、健康診断の有所見者の割合やワークエンゲージメントも改善しています。

しかしながら、高ストレス者やプレゼンティーズム、アブセンティーズムは悪化してしまいました。高ストレス者は、全員健康面談やメンタルヘルスセミナーでフォローして早期発見に繋げてまいります。プレゼンティーズム、アブセンティーズムについては、まずは2020年度の数値に戻すことを目標としつつ、改善できる施策の内容や方法についてはしっかりと見直しを図ってまいります。

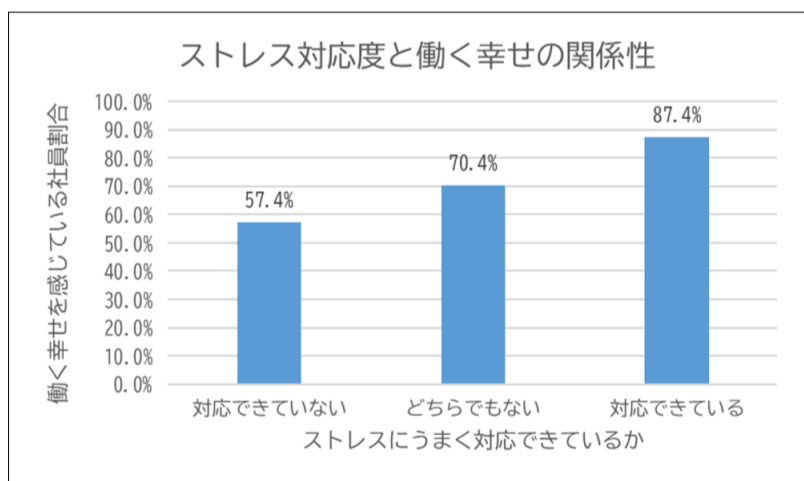
分類	指標	数値の理解	実績				目標		
			2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
<健康投資施策の取組状況に関する指標>	定期健康診断受診率	高いほどGood	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	定期健康診断後の精密検査受診率	高いほどGood	34.7%	61.1%	53.5%	65.0%	68.0%	70.0%	
	ストレスチェック受検率	高いほどGood	98.0%	99.9%	100%	99.4%	100%	100%	
	ハイリスク者の保健師面談実施率 ※1	高いほどGood	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	女性の健康セミナー参加率	高いほどGood	—	57.1%	50.6%	59.2%	59.2% ※実績	65.0%	
	年次有給休暇取得率	高いほどGood	72.0%	62.5%	71.0%	72.2%	75.0%	77.0%	
	育児取得率	男性	高いほどGood	54.5%	33.3%	88.9%	53.8%	70.0%	80.0%
		女性	高いほどGood	100.0%	100.0%	100%	100.0%	100%	100%
	ひと月あたりの平均残業時間	高いほどBad	19.0h	20.0h	21.0h	19.7h	19h	18.5h	
	テレワーク実施率	高いほどGood	84.2%	100.0%	100%	100%	100%	100%	
	全社員健康面談実施率	高いほどGood	—	98.5%	100%	100%	100%	100%	
	全社員健康面談満足率	高いほどGood	—	68.1%	72.0%	65.7%	70.0%	75.0%	
全社イベント参加率	高いほどGood	—	83.8%	84.1%	78.5%	90.4% ※実績	91%		
<従業員の意識変容・行動変容に関する指標>	[運動]1週間に2回、1回当たり30分以上の運動を実施している人の割合 (40歳以上で集計)	高いほどGood	21.4%	26.9%	32.9%	31.2%	33.0%	33.5%	
	[食習慣]就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある人の割合 (40歳以上で集計)	高いほどBad	38.5%	18.0%	16.4%	16.5%	16.0%	15.5%	
	[睡眠習慣]睡眠で休養が十分とれている人の割合 (40歳以上で集計)	高いほどGood	55.4%	70.3%	71.2%	71.6%	72.0%	72.5%	
	[飲酒習慣]飲酒頻度が時々または毎日かつ飲酒日の1日当たりの飲酒量が清酒換算で2合以上の人の割合 (40歳以上で集計)	高いほどBad	21.8%	19.3%	17.0%	17.1%	16.5%	16.0%	
	[喫煙習慣]タバコを吸っている人の割合 (40歳以上で集計)	高いほどBad	21.1%	18.3%	14.4%	13.8%	10.0%	5.0%	
	[ハイリスク者の管理] 高血圧者のうち治療中の社員割合 ※2	高いほどGood	100%	72.0%	82.4%	78.2%	82.5%	83.0%	
	ヘルスリテラシーの状況 ※3	健診・問診	高いほどGood	68.6%	74.7%	78.9%	76.4%	83.0%	85.0%
		健康アンケート	高いほどGood	—	—	—	—	3.65 ※実績	3.7
	上司の支援の状況	高いほどGood	8.28	8.68	8.75	8.81	8.95	9.00	
	同僚の支援の状況	高いほどGood	8.46	8.60	8.65	8.78	8.85	9.00	
	ワークライフバランスの状況	高いほどGood	108	114	115	116	117 ※実績	118	
	<健康関連の最終的な目標指標>	ワークエンゲージメントの状況 ※4	スコア	高いほどGood	104	109	112	113	116 ※実績
回答率と測定人数			高いほどGood	89% (522名)	93.7% (583名)	95.7% (610名)	96.0% (645名)	95.0% (703名)	100%
個人の尊重 (心理的安全性) ※5		高いほどGood	2.68	2.88	2.92	2.91	3.00	3.10	
職場の一体感 ※6		高いほどGood	2.87	2.97	3.02	3.03	3.10	3.15	
変化への対応 (組織に対する満足度) ※7		高いほどGood	2.46	2.67	2.74	2.63	2.88	3.00	
働く幸せ ※8		高いほどGood	—	—	—	74.0%	77.9% ※実績	80.0%	
健康診断の有所見者の割合 ※9		高いほどBad	70.5%	72.1%	74.3%	73.6%	71.5%	70.5%	
高ストレス者率		高いほどBad	11.7%	8.7%	7.4%	7.8%	7.5%	7.0%	
正社員の傷病による休職者率		高いほどBad	1.1%	0.7%	1.3%	1.0%	—	—	
正社員の平均勤続年数		高いほどGood	7.2年	7.5年	7.9年	7.7年	—	—	
プレゼンティーズム損失割合 ※10		高いほどBad	12.5%	10.5%	11.0%	12.4%	11.0%	10.5%	
アブセンティーズム損失割合 ※11		高いほどBad	5.6日/年	3.7日/年	3.8日/年	4.5日/年	4.2日/年	4.0日/年	
プレゼンティーズム及びアブセンティーズム損失割合の回答率と測定人数	高いほどGood	92.8% (512名)	89.0% (534名)	90.4% (564名)	87.4% (589名)	100%	100%		
<労働安全衛生に関する指標>	労働災害、死亡災害件数	高いほどBad	1件	0件	0件	0件	0件	0件	

- ※1 ハイリスク者とは、健康診断結果において厚生労働省が定める受診勧奨判定値の対象になる人を指す。
- ※2 高血圧者のうち治療中の社員割合とは、健康診断の問診において「血圧を下げる薬を服用している」を選択した社員数を①、血圧を下げる薬を服用してなくて収縮期血圧 160 mmHg以上または拡張期血圧 100 mmHg以上にあてはまる社員数を②としたときに、①÷(①+②)で求められる割合を指す。
- ※3 問診の運動・食事・睡眠・飲酒・喫煙の5項目において望ましい行動をとれている場合を1点、そうでない場合を0点とし、社員ごとに合計5点満点の生活習慣レベルを算出。合計3点以下かつ行動変容ステージが無関心期・関心期の社員がヘルスリテラシーが低いと定義し、それ以外の社員割合を算出。健康アンケートの病気や健康に関連した情報の収集・選択・伝達・判断・行動力5項目において、自分自身で探したり、利用したりすることができるかという設問に、強くそう思う5点、まあそう思う4点、どちらでもない3点、あまりそう思わない2点、まったくそう思わない1点で点数付けし、5項目の点数平均を算出
- ※4 株式会社アトラエのwevoxを活用し四半期に1回測定している。年4回の測定平均値を算出し、その平均値を基に2018年実施時の総合スコアを「100」として、2018年度対比で指標化している。
- ※5 新職業性ストレス簡易調査票 (80項目版) の「一人ひとりの価値観を大事にしてくれる職場だ」の設問に対する回答を点数化して回答者平均を算出 (そうだ=4点、まあそうだ=3点、ややちがう=2点、ちがう=1点)。
- ※6 新職業性ストレス簡易調査票 (80項目版) の「私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている」の設問に対する回答を点数化して回答者平均を算出 (そうだ=4点、まあそうだ=3点、ややちがう=2点、ちがう=1点)。
- ※7 新職業性ストレス簡易調査票 (80項目版) の「職場や仕事で変化があるときには、従業員の意見が聞かれている」の設問に対する回答を点数化して回答者平均を算出 (そうだ=4点、まあそうだ=3点、ややちがう=2点、ちがう=1点)。
- ※8 「私は、はたらくことを通じて、幸せを感じている」の設問に対して「とてもそう思う」「そう思う」「どちらかというと思う」と回答した割合を算出。
- ※9 健康診断の有所見者の割合とは、健康診断結果において厚生労働省が定める保健指導判定値、受診勧奨判定値の対象になる人を指す。
- ※10 WHO-HPQにおける相対的プレゼンティーズムの平均値
- ※11 病気や体調不良によって勤務日を休んだ日数の平均値

健康経営の取組みに関するアンケート

年に1回、健康経営に関するアンケートを行い、会社の健康経営の取り組みに対する理解度や関心、要望等を把握しています。また2023年度は、記名式で収集し様々な健康データとクロス分析を実施しました。(回答者：289名)

その結果、ストレスに上手く対応できている社員においては、働く幸せを感じる割合が高いことが分かりました。今後ストレスへの対処法などについての教育を強化することで、働く幸せを感じる社員割合を高めていきたいと考えています。



またアンケートによると、会社が健康経営に取組んでいる、且つ社員と会社が健康経営に取り組むことで社員の心身の健康以外にも企業価値向上等のメリットがあると思う、と答えた社員の割合が85.5%となり、2022年度の80.5%から更に5%上昇しました。会社が健康経営に取り組むことを有意義だと考える社員が多く社員1人ひとりに健康経営が浸透していることを再確認できました。

今後も同様のアンケートを継続し、しっかりと社員からの評価を確認しながら健康経営の取組みを深化させていきます。

